

V1.3.0は、SQシリーズのデジタルオーディオミキサー用のファームウェア機能とメンテナンスリリースです。

Note 詳しくは、Allen & Heath のウェブサイトを参照してください：www.allen-heath.com

- SQシリーズ製品の最新情報
- The Allen & Heath Knowledgebaseをサポート

Note ファームウェアファイルは、*.binファイルとしてこのアーカイブに含まれています。アップデートするSQモデルに適切なファイルがあることを確認してください。

File: **SQ-5** = SQ-5UPG_1_3_0r2925.bin
 SQ-6 = SQ-6UPG_1_3_0r2925.bin
 SQ-7 = SQ-7UPG_1_3_0r2925.bin

Note USBデバイスをSQミキサーのフォーマットユーティリティを使用してフォーマットします。すべてのUSBデバイスがSQミキサーと互換性があるわけではありません。フォーマットしたSQミキサーにのみ使用し、ミキサーで正常に動作することを確認してください。

Note SQドライブのオーディオ録音およびマルチトラック再生では、USBストレージデバイスが高い持続転送レートをサポートする必要があります。すべてのUSBデバイスが完璧なパフォーマンスを保証するわけではありません。最良の結果を得るには、USBのスティックドライブではなく、外付けHDDまたはSSDを使用することをお勧めします。

Note USBストリーミングは、Mac / Windows PCコンピュータと互換性があります。SQはCore Audio準拠で、macOS 10.12 (Sierra) 以降で動作します。Windows ASIO / WDMドライバは、Windowsコンピュータで使用する前にインストールする必要があります。最新のSQ Windowsドライバとインストールガイドについては、www.allen-heath.com を参照してください。

Note ファームウェアV1.2.0よりSQ 'Upgrades'を導入しました。ユニットを登録し、shop.allen-heath.com からアップグレードキーを入手することにより、ファームウェアV1.1.0に含まれている無料の「Tube Stage」プリアンプをSQユニットに追加する必要があります。詳細は、Webサイトおよびリファレンスガイドを参照してください。

Note パッチの変更や保存されたファイルの構造により、V1.0.0で作成されたシーンやショーは、それ以降のファームウェアのリリースと互換性がありません。V1.0.0からSQファームウェアをアップデートすると、現在の設定はすべてリセットされ、既存の保存されたすべてのデータ（シーン/ショー/ライブラリー）は互換性がなくなります。ファームウェアの後続バージョンからアップデートする場合はそうではありません。

Note V1.3以降、SQ-MixPadおよびSQ4Youアプリは64ビットのみです。古いios等の32ビットデバイスでSQを使用するには、ファームウェアをV1.2.2のまままでご利用ください。

V1.3.0

追加機能：

- SLinkおよびWavesカードのサポート追加
- DX164-Wのサポート追加
- 内蔵プラグインの追加：DEEP 16T、16VU、Mighty、Opto、Peak Limiter 76コンプレッサー
- GEQタイプの追加、Proportional, DiGi, Hybrid
- Outパッチが可能な出力のリスン・バスマスター・フェーダーの「リッスン・レベル」モードミックス・セッティングの一括リセット可能
- Tie Lineパッチ
- 入力パッチライブラリー
- 外部からPAFLへの入力
- パッチ可能なPAFL出力
- ユーザー権限
- MIDI、割り当て可能なソフト・ロータリー・キー機能、表示された値の追加、'VIEW'キーを使用した表示など、Extra Soft Rotaryオプション
- PEQのタッチとドラッグのコントロール
- SQ-MixPadの追加 - ユーザー権限、I/Oパッチ、FXパラメーター、SigGenコントロール